

令和3年度 川薩地域「入退院調整ルール」検討会 (書面開催)



1 開会

2 報告

令和3年度「川薩地域入退院調整ルール」運用後アンケート調査結果について(資料1)

3 検討

(1) 入退院調整ルールの現状と課題について

(資料2)

(2) 医療機関のルール参加率拡大に向けて

(資料3)

(3) 検討会後のルールの普及啓発と活用の推進に向けて

4 その他

5 閉会

3 検討

(1) 入退院調整ルールの現状と課題について

(2) 医療機関のルール参加率拡大に向けて

(3) 検討会後のルールの普及啓発と活用の推進に向けて

4 その他

令和3年度 「川薩地域入退院調整ルール」 アンケート結果について

川薩保健所

1

川薩地域入退院調整ルール」運用後アンケート調査

【調査対象期間】 令和3年7月の1か月間

【対象】 (1) ケアマネジャー(以下CM) 川薩圏域各市町の居宅介護支援事業所(小規模多機能含む)及び
地域包括支援センターCM

(2) 医療機関(15医療機関) 川薩地域入退院調整ルール参加機関

【アンケート項目】

① ケアマネジャーアンケート

- ・ 病院からの退院調整の状況
- ・ 連携シートの活用状況等
- ・ カンファレンスへの参加状況
- ・ 在宅生活を念頭に置いた情報共有と利用者や家族の意向について医療機関との情報共有
- ・ 医療機関との連携でうまくいっている点・困っている点

② 医療機関アンケート

- ・ 院内でのルールの共有
- ・ 介護保険受給者の入退院数及び情報連携の件数
- ・ 退院時の情報提供件数
- ・ ケアマネとの連携でうまくいっている点・困っている点

* 「退院調整」とは

要支援・要介護状態の患者(申請中の者を含む)が退院する際の病院から介護支援専門員への引継ぎの連絡(退院前の多職種カンファレンス、医療ソーシャルワーカーとの個別面談、電話やファックス、メールでの連絡等)

2

アンケート回答者の状況 (R3.7月分調査)

①ケアマネジャーアンケート

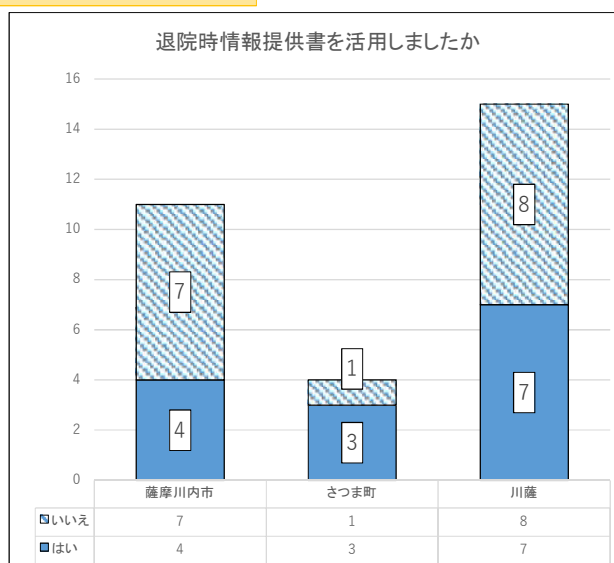
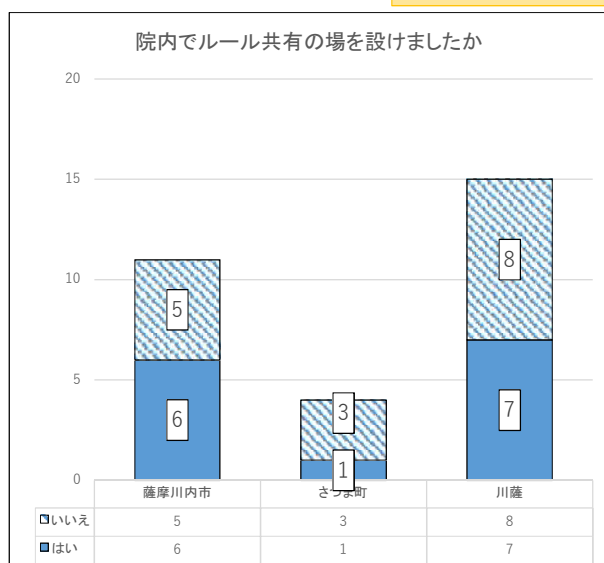
	薩摩川内市			さつま町			計		
	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率
居宅介護支援事業所 ケアマネジャー (小規模多機能含む)	102	84	82.4%	18	18	100%	120	102	85.0%
地域包括支援セン ターケアマネジャー	16	15	93.8%	11	11	100%	27	26	96.3%

②医療機関アンケート

	薩摩川内市			さつま町			計		
	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率
医療機関	11	11	100%	4	4	100%	15	15	100%

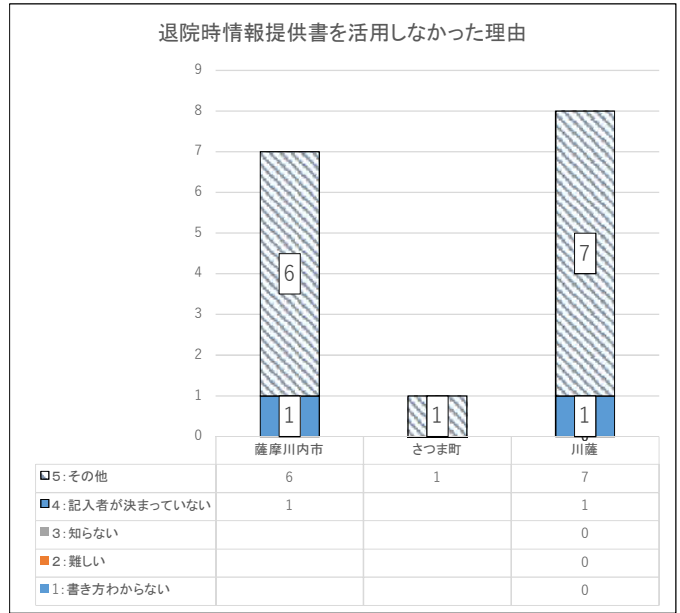
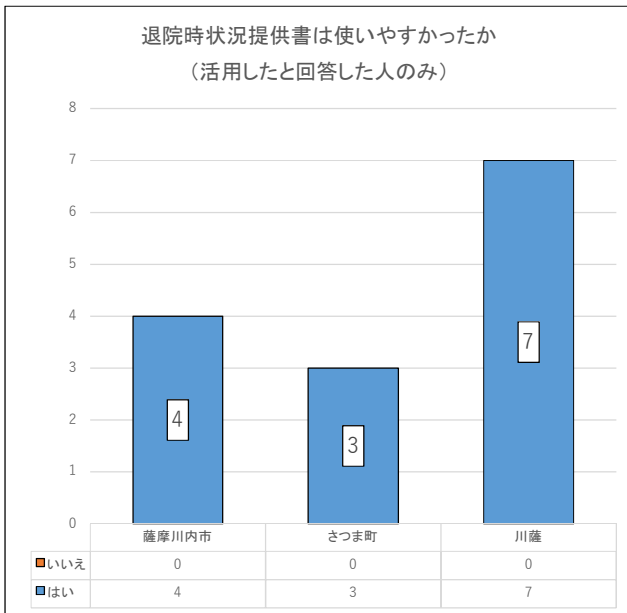
3

医療機関アンケート結果



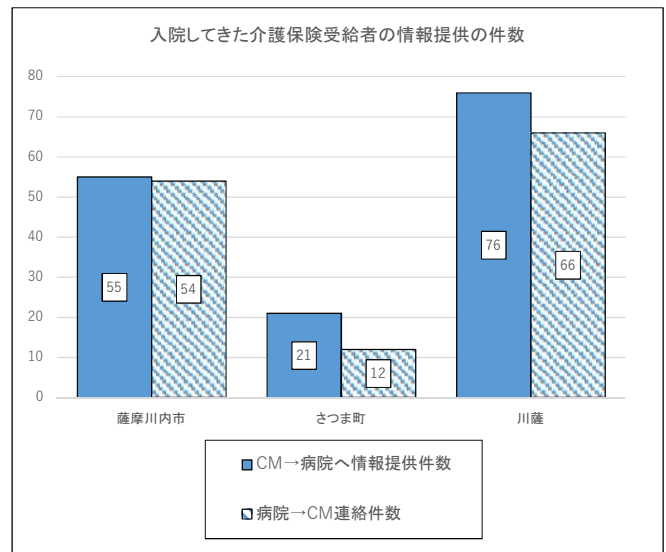
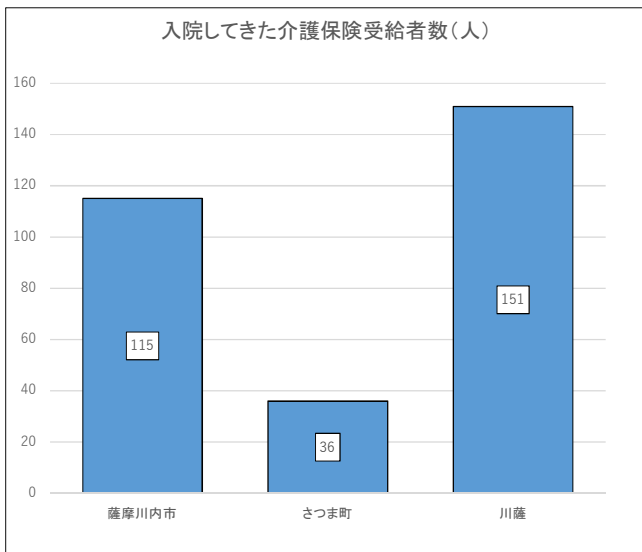
- 院内でルールの共有の場を設けていた医療機関は**約5割**だった。
- 退院時情報提供書を活用していた医療機関も**約5割**で、活用していない医療機関のほとんどが、看護サマリー等を活用していた。

4



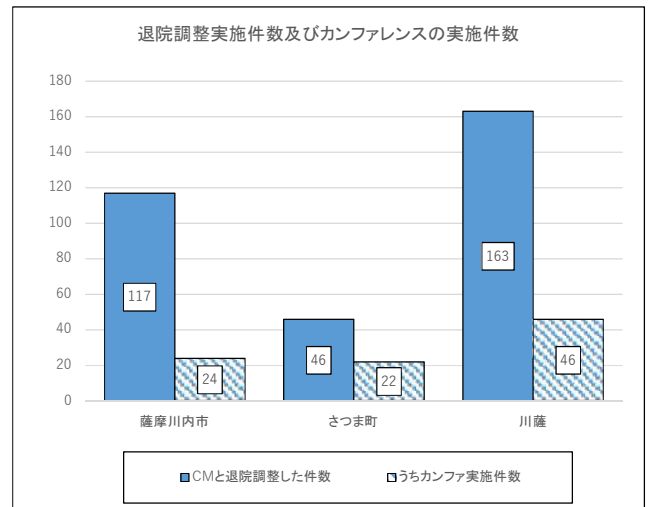
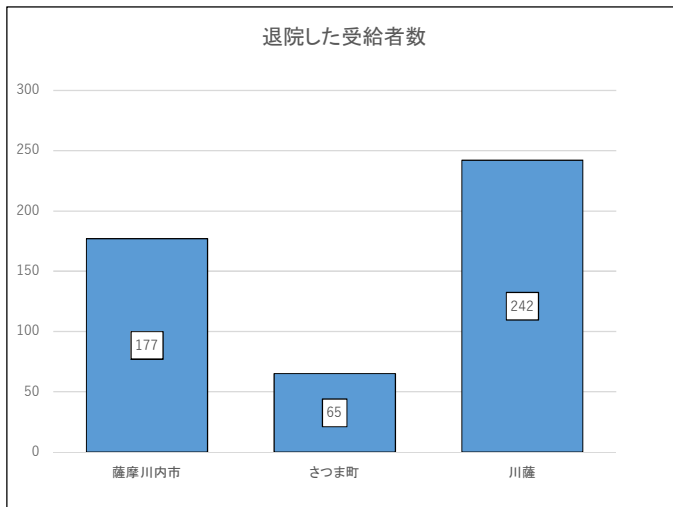
- 活用していると回答した全てが使いやすかったと回答。(使いにくかった理由としては記入枠が狭くフォントが小さく見づらい)

入院時の情報提供件数



- 川薩地区の入院時にケアマネジャーから病院情報提供があった件数は76件(50.3%)。R2年7月の94件(59.9%)より減少した。
- 病院からケアマネジャーに連絡し情報提供を依頼した件数は66件(43.7%)。R2年7月の36件(22.9%)より増加した。

退院時の情報提供件数



- ・R3年7月の1か月間に退院した介護保険受給者は川薩圏域において242件。
- ・CMと退院調整した件数は163件(67.4%), うちカンファレンス実施件数は46件であった。

7

ケアマネとの連携が上手くいっている点

- ・入院後早期に「入院・入所時情報提供シート」や電話で在宅時の生活状況を的確に伝えていただき、入退院支援が円滑に進み助かっている。
- ・情報提供書を事前に提出することで情報共有が図れ、連携が取りやすい。
- ・在宅時、入院中、各々の様子や経過等の情報を共有しやすく、患者様やその御家族に対する支援がしやすい。
- ・入院時は必ずケアマネ・居宅の確認を行い、入院の連絡を行っている。ほとんどのケアマネが自ら情報を持ってきてくださる。
- ・「連携室」と「居宅」が隣にあり、情報共有しやすい。

ケアマネとの連携で困っている点

- ・時々、古い書式を使うケアマネがいらっしゃる。
- ・入院・入所時情報提供シートを持参・FAXされる際、前もって連絡をいただくと対応しやすい。
- ・依頼内容(受診, 入院, 書類等)によっては相談員で対応できないこともある。
- ・新規の入院患者の支援については、早い時期からの連絡をお願いしたい。

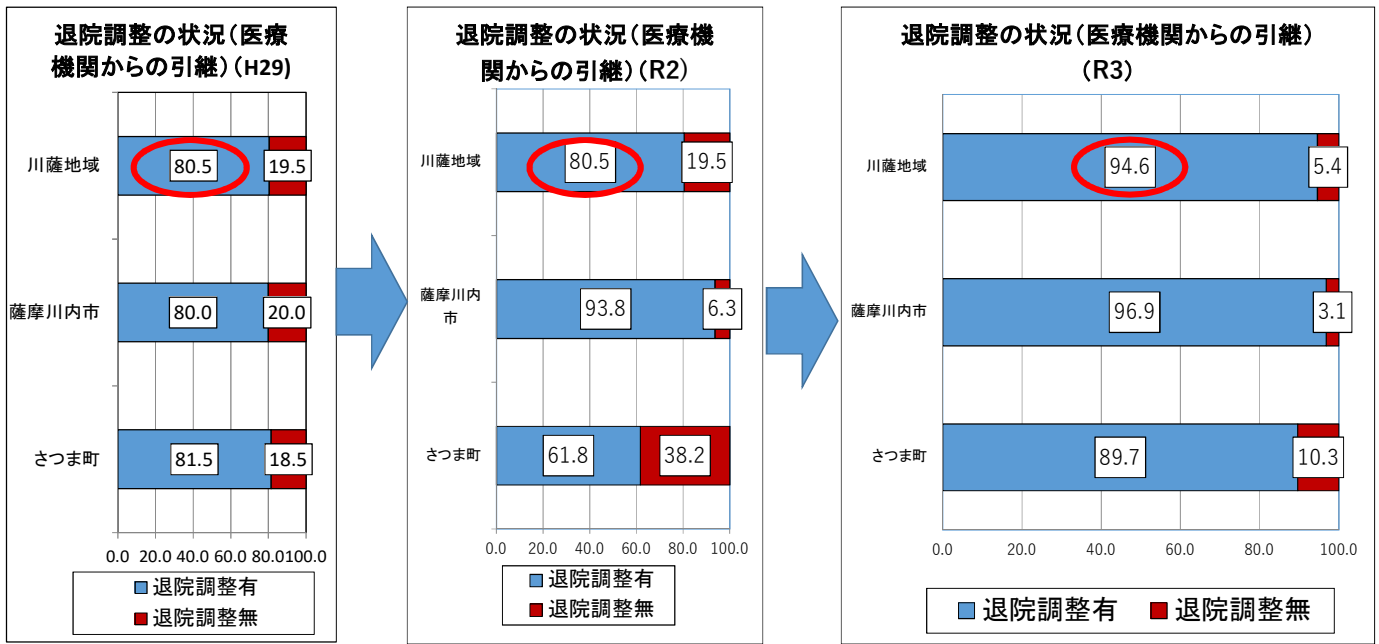
圏域を超えた支援に対する意見

- ・コロナの影響で、直接面会ができず、患者様の状態の共有が難しく支援に苦慮した。
- ・面接できないことで情報がうまく伝わらず、我々の情報提供やコミュニケーション技術も問われているように感じる。技術の向上やITの活用などで解消していけたらと思う。

8

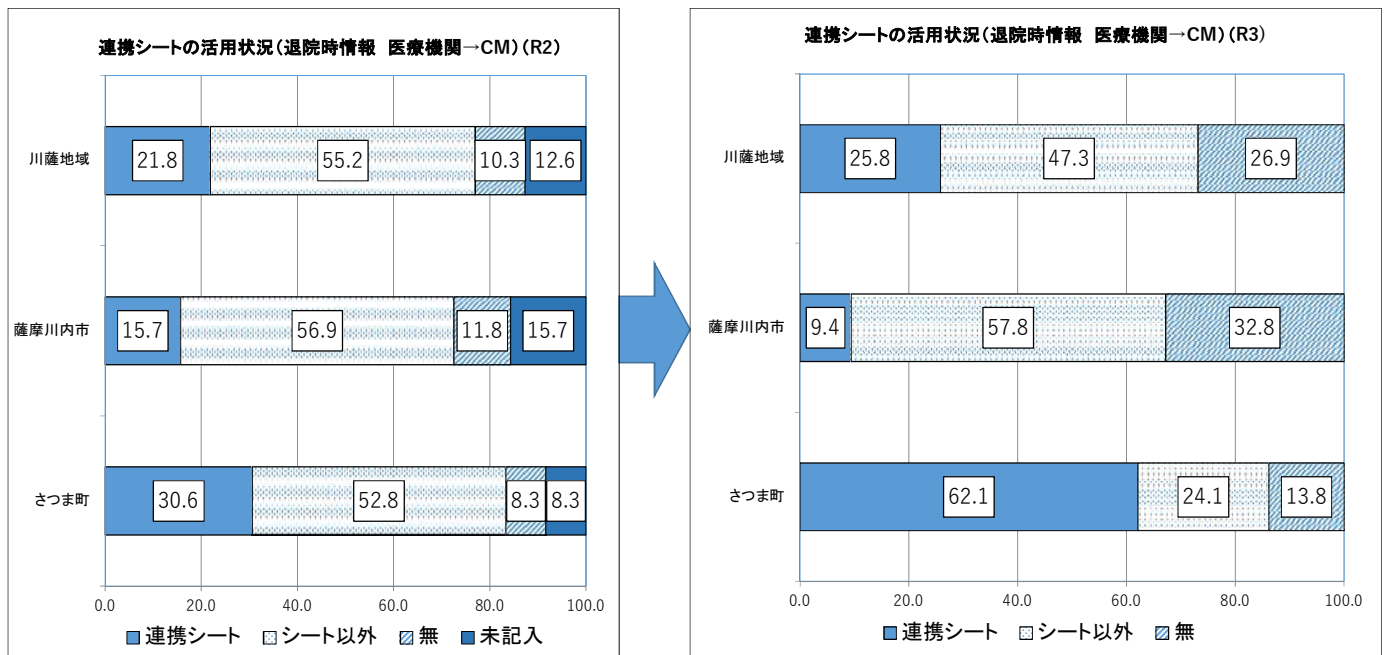
ケアマネジャー-アンケート結果

R2年度の調査結果との比較



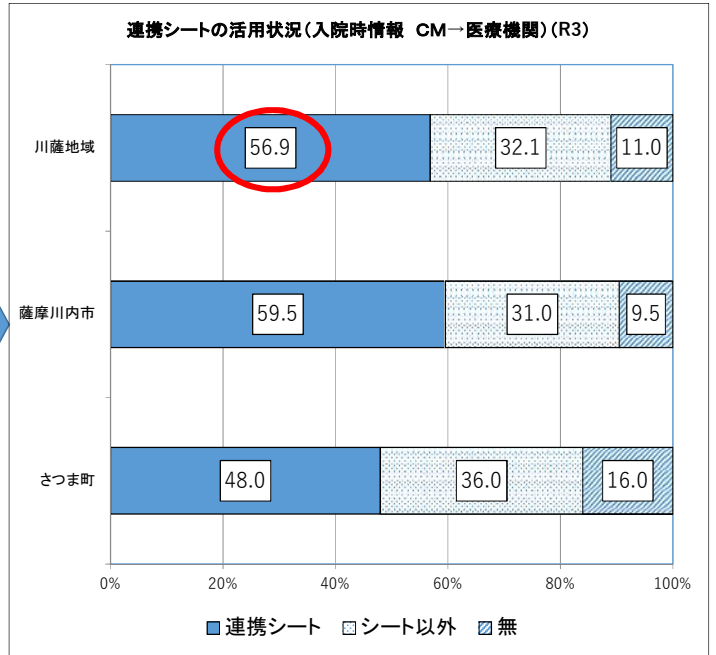
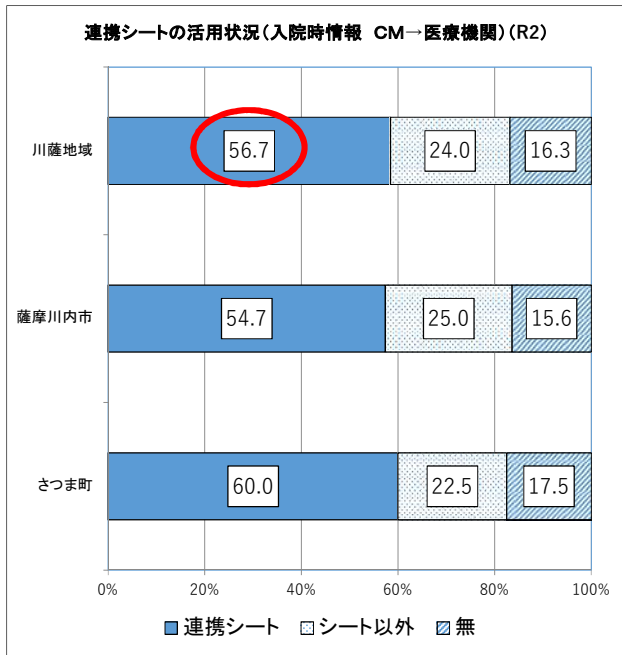
- 川薩地域の退院調整率はR2年までは横ばいであったが、R3年7月は94.6%と増加した。
- 薩摩川内市が96.9%、さつま町が89.7%と2市町ともに増加した。

9



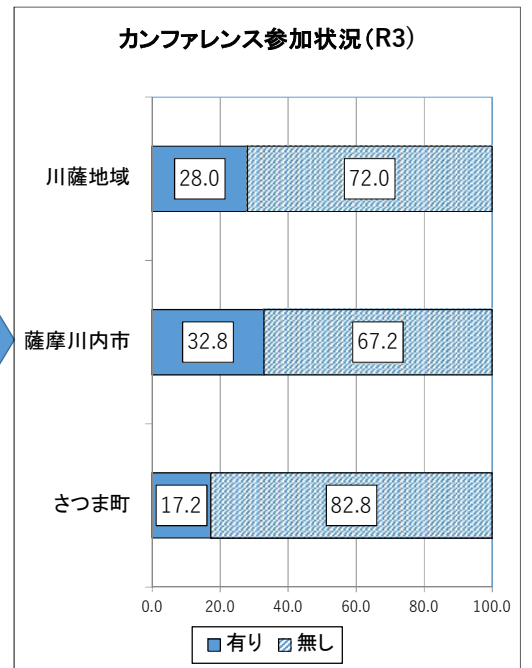
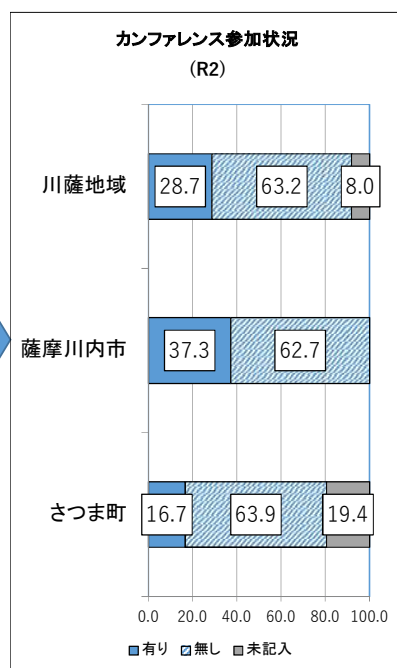
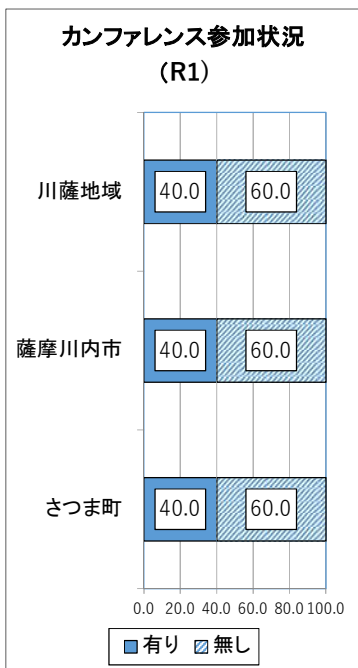
- 医療機関の退院時連携シートの活用状況は、前回は21.8%、今回は25.8%と増加している。
- 薩摩川内市は減少し、さつま町では増加していた。

10



- ケアマネの入院時連携シートの活用状況は、前回は56.7%, 今回が56.9%と横ばい。
- 連携シート以外の活用を含めると、情報提供されていないケースは減少していた。

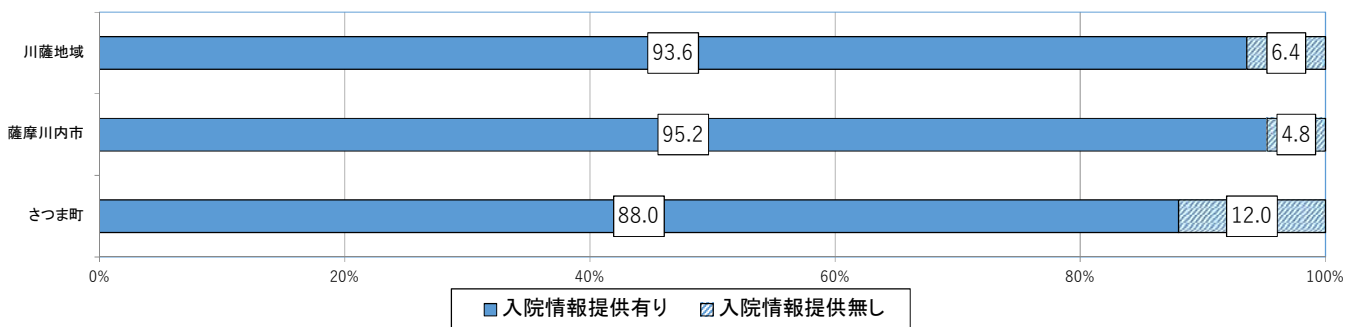
11



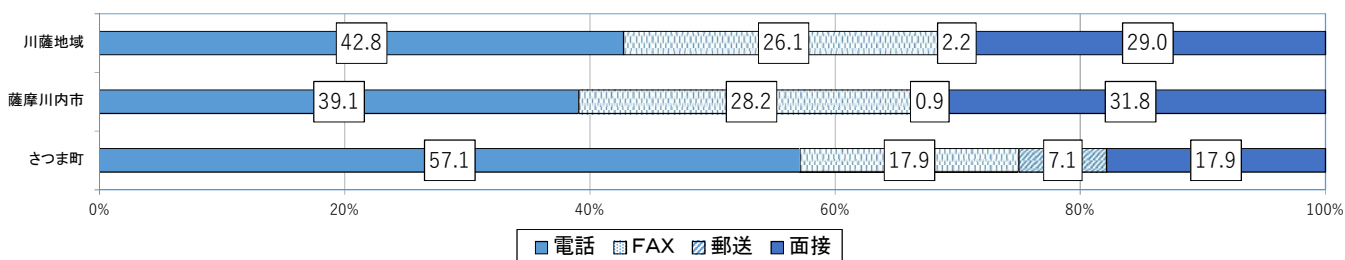
- カンファレンスの参加状況は、R1より減少している。
- 川薩地域については、R2の28.7%とほぼ横ばいだった。

12

入院時に医療機関への引継(CM→医療機関)



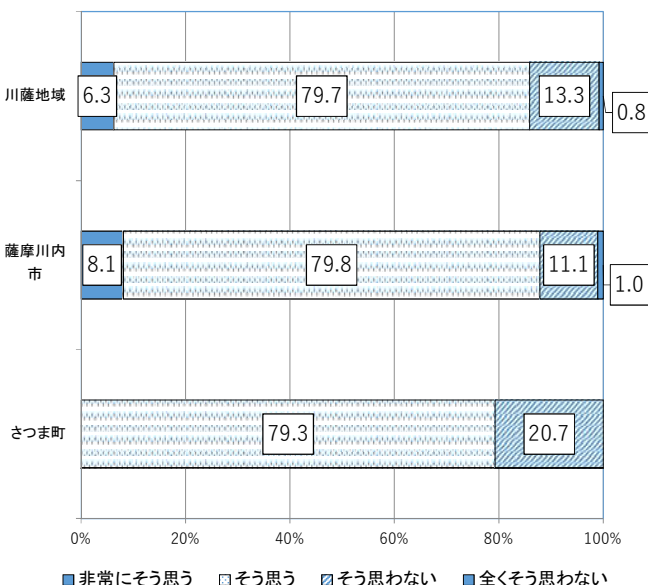
入院時の情報提供の方法(複数回答)



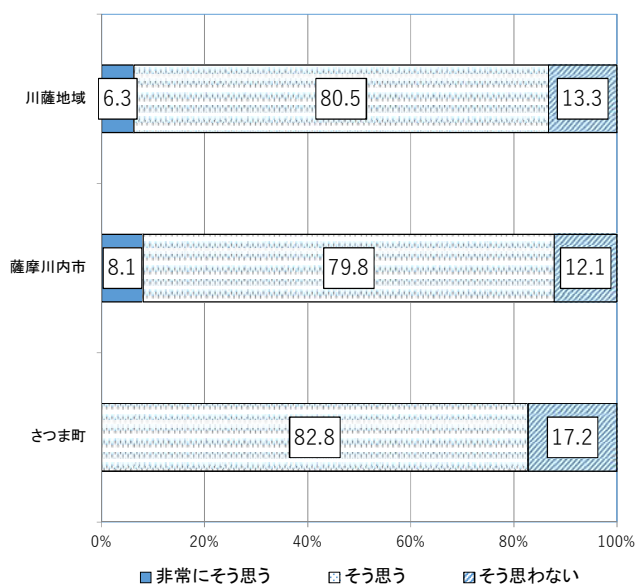
• 入院時の医療機関への情報提供は93.6%と数年9割を超えている。

13

医療機関と在宅生活を念頭に置いた情報共有が
できている(CM調査)



利用者や家族の意向について医療機関と
情報共有できている(CM調査)



• 医療機関と在宅生活を念頭に置いた情報提供及び利用者や家族の意向について医療機関と情報共有できていると約8割が回答していた。

14

医療機関との連携が上手くいっている点

- ・入院中からカンファレンスに声をかけてもらい、看護師・PT・連携室の方からそれぞれ情報をいただき、自宅での生活に反映させられた。
- ・コロナの影響で面会制限がある中、オンラインを活用したり、短時間での面会をさせてもらい退院後のスムーズなサービス利用ができています。
- ・連携室に連絡すれば必要な情報を得ることができ、受け入れ体制を整えることができた。
- ・相談員の方が本人と家族の意向を聴き取ってくださり、退院後に必要な支援について一緒に検討してもらい安心して退院につなげることができた。
- ・入院中の状況を連携シートで情報提供してもらい、退院後安全に入浴支援等の支援体制の準備ができた。
- ・本人の認知面の情報を細かく提供してもらえたため、退院後のサービス利用の見込み等、医師と共有でき、在宅退院を目標に薬剤調整や環境確認が細かくできた。

医療機関との連携で困っている点

- ・入退院の連絡がないケースも未だある。
- ・住宅改修が必要だったり、新たなサービスの導入が必要だったが、退院日の事前連絡がなかったり、退院日に連絡があったり、在宅生活の調整が間に合わず困った。
- ・がん末期患者でケアマネが選任されておらず、退院時に訪問看護事業所から依頼があって介護保険の申請をすることがあった。入退院調整ルールのケアマネジャーがいない場合に当たるが、対応がされていなかった。
- ・退院直前でないと情報がもらえず、ケアプランに反映できないことがある。
- ・相談員が不在の場合、他のスタッフと連絡を取らないといけなかったが、院内で情報共有されていなかったことがあった。

15

意見交換会に参加した方の意見

- ・ルールの周知が必要。(ルールやシートを知らない人がいる。)
- ・シートの記入量を少し減らして負担を減らしてほしい。
- ・退院時情報提供書ではなく、看護サマリーなどを利用している医療機関が多い。(業務に追われてシートを利用できていない。)
- ・院内の周知用スライドがあるとルールが広がるのではないかと。

今後の課題

- ・ルールの周知。
- ・情報提供書の活用。
- ・入院時、退院時に必要な情報を早めに提供し、在宅での生活を想定した利用者・家族の意向に沿った退院支援。
- ・コロナ禍でも相手に必要な情報が伝わるように質の高い連携体制。

16

他圏域の情報提供シート

南薩

様式1 入院時情報提供シート 介護支援専門員 ⇒ 医療機関
(入院医療機関名・担当者名) 様 平成 年 月 日作成

様式2 退院支援情報共有シート 医療機関 ⇒ 介護支援専門員
情報提供先(事業所・担当ケアマネ名) 様 平成 年 月 日作成

医療機関名	TEL	作成者	職種:	氏名:
情報共有日	平成 年 月 日	形式	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 面談 <input type="checkbox"/> カンファレンス	
患者氏名	生年月日	性別	年齢	歳
件 所	この情報を提供することについて、ご本人またはご家族から同意をいただいています。			女

始良

医療機関⇒介護支援専門員

【 介護支援連携指導シート (退院時連携シート) 】 (excel版)

様式 2

医療機関名	入院日	年	月	日
ふりがな	<p>情報提供同意： 上記の介護支援専門員への情報提供について下記の署名をもって同意します。 介護支援専門員が必要な各専門職(看護・薬剤・リハビリなど)からの情報提供にも承諾します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>ご本人・ご家族の署名 (同意について) (続柄)</p> <p>※ご本人・ご家族へ原本をお渡しします。 ※指導料算定には介護支援専門員の来院とケアプラン添付を要する。</p>			
患者氏名				
病				
実施				

大隅

様式1 入院時情報提供シート 平成 年 月 日

事業所名	電話番号	
担当者名	FAX番号	

氏名 この情報を提供することについて、ご本人またはご家族から同意をいただいています。
上記利用者の入院にあたり、情報提供を受けました。

氏名	平成 年 月 日(午前・午後 :)	医療機関名	職名	氏名
----	--------------------	-------	----	----

様式2 退院支援情報共有シート 担当ケアマネ()

医療機関名	電話番号	
担当者名	FAX番号	

医療機関の連絡窓口(所属)	()	面談参加者	
面談日時	平成 年 月 日	～	場所

この様式は、医療機関担当者と介護支援専門員が情報共有を行うためのものであり、ご本人・ご家族へ提供することを想定していません。

